敦賀美浜 ふるさと紀行

# 集めたくなる 敦賀の新土産 敦ガチャ！

## 敦賀の新しいお土産を公募し、グランプリ作品を製品化

敦賀のグルメや名物をモチーフにしたカプセル玩具をガチャガチャで販売する「敦ガチャ」。遊び心にあふれた敦賀のプチ土産として、登場以来、人気を集めています。

敦ガチャが誕生したのは、２０１７年。敦賀青年会議所のまちづくり事業の一環として企画されたのがきっかけでした。

「市民の皆さんに敦賀の新しいお土産を考えてもらおうとアイデアを一般公募しました。**市民投票の結果、グランプリを獲得したのが、この敦ガチャだったんです**」と話すのは、当時、青年会議所で事業を担当していた川崎悟さん。事業では、**ソースカツ丼やかたパンなど敦賀の名物や名所をモチーフに４種類の敦ガチャを製作し、**商店街のイベントでお披露目して大きな反響を呼びました。

「大型クルーズ客船 ダイヤモンド・プリンセスが敦賀に寄港するタイミングに合わせたので、地元住民はもちろん、外国人観光客の方にも興味を持っていただけました」と、岩井さん。賑わいづくりにも一役買いました。

ふらっぷがこれまでに手掛けた数々。ソースカツ丼や皮ようかん、かにパイなど敦賀市民にはおなじみの商品やメニューがリアルに再現されており、子どもはもちろん、大人も集めたくなる魅力にあふれています。

## 就労支援事業所による リアルで細やかなモノづくり

敦ガチャの製作を手掛けているのは、障害者の就労支援を行う社会福祉事業所「**ふらっぷ**」です。当初は委託を受けていましたが、２０２０年に敦賀青年会議所から事業を引き継ぎ、現在では製作から管理まで一連の業務を担っています。

ふらっぷで管理者を務める高崎かおりさんは、「**社会参加や地域とのつながりを事業とし、それが就労者の方々の仕事になれば、という思いから事業譲渡のご相談をさせてもらいました。自分たちの作ったものを目の前で（ガチャで）回してもらえるのは就労者にとっても大きな喜びです**」と話します。

ふらっぷでは、手先を使った細やかなモノづくりを得意としています。敦ガチャは、紙粘土や樹脂粘土を使い、成形して着色。一つひとつ手作りで仕上げています。質感にもこだわり、海鮮丼は魚介類の艶やかさ、皮ようかんは竹皮の文様までリアルに再現。就労者の皆さんの創意工夫もあり、製作回数を重ねるごとに精度はブラッシュアップされています。

何をモチーフにするかは、「**敦賀らしいものを**」という観点からアイデアを出し合って決めています。アイテム数は年々増加し、**現在はシリーズ第３弾までを市内５ヵ所に設置しています。**

紙粘土や樹脂粘土を使い、細かなパーツなどを組み合わせて作り上げていきます。なかには一つ作るのに1週間かかるものもあるのだとか。

## 企業や店舗から自社商品のミニチュア製作依頼も

敦ガチャは北陸新幹線の敦賀延伸時にメディアで大きく紹介され、広く知られるようになりました。

「全種類集めたいと大人買いする人もいますし、県外から『お金を振り込むので回して出たものを送ってほしい』というお電話をいただいたこともありました」という話からも、人気ぶりが伺えます。

精巧な出来栄えは市民や観光客だけでなく、企業や商店からも注目されており、「うちの商品を敦ガチャにしてほしい」というオファーを受けることも。敦賀をはじめ県内の飲食店などから自社商品のオリジナルグッズ製作を依頼されることもあり、敦ガチャで培った技術が広く活かされています。現在は、中池見湿地の生き物をモチーフにしたミニチュアを試作中とのこと。新たな敦賀の魅力を発信してくれそうです。

ふらっぷの他、敦賀駅交流施設オルパークや温泉施設リラ・ポート、日本海さかな街などに設置しています。

●この記事に関するお問い合わせ
社会福祉事業「ふらっぷ」
0770-36-4518

発行所 ■ 日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部＝〒914-8585 敦賀市木崎65号20番地
☎0770（23）3021 ホームページ https://www.jaea.go.jp/04/turuga/（2025年12月発行）